



成果指標				
成果指標	当該年度の中間管理機構を活用した借り手と貸し手の契約数／昨年度の中間管理機構を活用した借り手と貸し手の契約数×100			
指標設定の考え方	中間管理機構を活用した借り手と貸し手の契約数を測定することにより、事業効果を図る。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	100%以上	100%以上	0	0
実績	-	400	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	人・農地プランの具体的な推進に向け、本事業の有効活用により、農地の集約が図れるため、今後も継続推進する必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	人・農地プランの枠組みを活用した話し合いと、農地中間管理事業の活用による農地集積(面的集積)について、今後とも推進する必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	